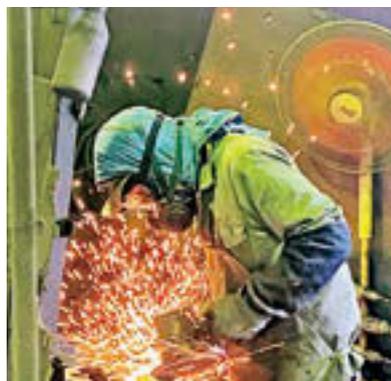




FUKUSHIMAものづくり 企業ファイル(No.17)

このコーナーでは、福島市に立地しているものづくり企業の知られざる魅力にスポットをあて、紹介します。
今回は「野田鉄工(有)」さんです。



▲トラック部品のグラインダー作業

【会社概要】

所在地：福島市野田町
代表者：代表取締役社長
阿部典生

設立：昭和44年
資本金：600万円
社員数：29人

主力事業：鋳物加工、ジェラートの製造・販売など
連絡先：☎534-7642
FAX534-7643

■問／商工業振興課
☎525-3721

世界に誇れる鋳物加工技術に磨きをかけ、未来のために日々精進し、時代の風潮に沿って、どのような時代でも地域に必要なとされる企業になれるよう心掛けていきます。
優れた加工技術を生かし、鋳物加工製品を中心にカーブフリーニングやハウスクリーニングなど多彩な事業を展開しています。
「鉄工とは違う新しい分野に挑戦したい。」との先代のアドバイスを胸に、今後とも未来を切り開くために邁進します。

クローズアップ

県産の食材を使用したジェラート開発！

三代目で現専務の提案のもと「幅広い世代に愛される、福島の新たな特産品をつくりたい」と県産食材を使ったジェラートの製造・販売に挑戦しています。商品開発は苦労の連続ですが、今後も社員一丸となって商品を開発したいです。

フードロス削減のために、色付きや形、傷などの理由で出荷できなかった市内の果物などを活用した「MOTTAI」、県内の酒蔵の酒粕を使用し、酒粕本来の風味や特徴を表現した「縁」を開発。鉄工所がジェラートを手掛けることがメディアにも多数取り上げられ、好評をいただいています。



▲多彩な事業を展開する阿部社長



▲MOTTAI(上)・縁(下)

新しいチャレンジを可能にし、活力を引き出す



野田鉄工 有限会社



▲ホームページはこちら

We Love
ふくしま!

第55回 「野球殿堂入りの栄冠」



ついに古閑裕而さんに野球殿堂入りの栄冠が輝きました。

市内有志とともに「古閑裕而の野球殿堂入りを実現する会」を立ち上げてから、五度目の挑戦。年々得票を伸ばしていたものの、昨年は、わずか1票足りずで殿堂入りを逃していただけに、この上ない嬉しさです。

古閑さんは、オリンピックマーチなどスポーツ音楽も得意としていますが、特に野球とは関係が深く、学校や会社、球団大会の歌や応援歌を数多く作曲しています。応援歌などを通じて試合を盛り上げ、野球が創成期から国民的スポーツへと発展するのに大きく貢献しました。

特徴的なのは、大学野球、プロ野球、社会人野球、それぞれの有名なライバルや名門の曲を作っていることでしょう。早稲田・慶応、巨人・阪神、ENEOSの応援歌は古閑さん作曲。その応援歌によって、双方の応援やプレーが熱く盛り上がり、その熱気が球界全体に波及していったのです。

また、夏の甲子園の大会歌、栄冠は君に耀くは、球児には甲子園への夢を、観衆には一層の清々しさを与えて、高校野球の魅力が大いに高めています。コロナ禍による中止後の翌年の大

会で、朝ドラ・エールのシーンを見るような栄冠の独唱の中、選手たちが喜びを胸に入場しました。その時の感動を、私は忘れることはできません。

野球を、そしてスポーツを盛り上げる古閑メロディーの力は、現代も力強く生きています。古閑さんの野球殿堂入りは、大震災後も数々の災難を被ってきた福島の人たちに明るい希望を与えてくれる古閑さんからのエールです。

古閑さんの応援歌ゆかりの記念試合などで、殿堂入りのお祝いをするともに、これを機に古閑裕而のまちづくり(音楽文化の振興など)やスポーツのまちづくりに一層励み、福島市の新ステイジづくりを成し遂げていきたいと思っています。今度は、私たちの「栄冠」勝ち取る番です。

* 野球殿堂は、野球の発展に大きく貢献した人の功績を永久に称え顕彰するための表彰。競技者表彰と特別表彰があります。古閑さんは、特別表彰を受賞しました。

福島市長 木幡 浩